

令和6年度 犬山市障害者自立支援協議会 相談支援事業所連絡会 活動報告(令和7年3月10日時点)					
月	日	活動内容	月	日	活動内容
4月	16日	意見交換 《アサヒサンクリーン株式会社より事業説明》 ・訪問入浴は3人対応のため、役割を確認しながら取り組める。 ・支援者の選択はできないが、同性介助はある程度配慮することができる。 ・令和6年度の活動について	7月	12日	講話 《ペアレントメンターによる講話》 ※子ども部会ワーキンググループとの合同開催 ○講師:NPO法人アスペエルデの会 宇野笑子氏 NPO法人愛知県自閉症協会・つぼみの会 三井春枝氏 《感想》※一部抜粋 ・お母さんの想いや大変さのリアルな話が聞くことができ大変ためになった。 ・ペアレントメンターについて知ることができたので周知していけたらと思った。
5月	17日	事例検討会 ・相談支援専門員がこれまでの支援の中で困難と感じた事例を出し合う。事例の共有と意見交換。 《意見が出た事例》※一部抜粋 ・報酬改定について ・ヘルパーの質や数の問題 ・レスパイト的なショートステイ先の不足 ・利用者の高齢化問題 ・放課後等デイサービスの利用について	8月	20日	事例検討会 ○事例提供:相談支援事業所せせらぎ ・ファシリテーターを皆が行うように勧めていきたい。 ・日々事業所内でのスーパーバイズが出来るように。誰もが出来る事を念頭に。 ・事例をもんで、時間をかけてやるよりは、進んでいる事例に対してその事例提供者が進めた事が良かったのか、こんな時皆どうなのか、それにまつわる質問をあげて、事例提供者がハット気づくことができるようなやり方を検討の仕方になる。情報が無いところからスタートをする。
6月	14日	勉強会 《犬山国際交流協会について》 ○犬山国際交流協会事務局長 辻愛子氏 ・面談時等に通訳者を派遣することも可能。 《NPO法人シェイクハンズについて》 ○NPO法人シェイクハンズ 代表理事 松本里美氏 ・外国籍の児童を主に支援をし、生活相談や貧困支援を行っている。	10月	8日	勉強会 《障害者者支援課より地域生活支援拠点について》 ・5つ(①相談、②緊急時の受入れ・対応、③体験の機会・場、④専門的人材の確保・養成、⑤地域の体制づくり)の機能を整備中。 ・犬山市では面的整備型に取り組んでいる。

11月	12日	事例検討会 ○事例提供:相談支援事業所ひかり ・グループホームと保護者の間で相談支援専門員が板挟みとなっているケース ・保護者がグループホームに対する不信感が募り、グループホームには内緒で新たなグループホームを探してほしい。 《参加者からの意見》※一部抜粋 ・現在のグループホームにも伝えた上で探したほうが良いのでは。 ・保護者の気持ちも汲んだうえで担当者会議を開催してみてもどうか。	2月	13日	グループワーク 《他の支援者の価値観を知り、自己点検をしてみよう》 ・与えられた課題に対して他の支援者との価値観の違いを知り、自分の価値観についても見つめ直す。 ○話題提供:相談支援事業所せせらぎ
12月	10日	事例検討会 ○事例提供:相談支援事業所じもく ・多機関連携が成功した事例についての共有 ・知的障害者夫婦の間にできた子供と夫婦の支援について 《参加者からの意見》 ・問題が起こる前から多機関と連携することで何か起こった時に連携がしやすくなると感じた。	3月	12日	意見交換 ○令和6年度の活動振り返り(予定) ○令和7年度の活動について(予定)
1月	17日	研修会 《障がいのある人の性支援について》 ※子ども部会ワーキンググループとの合同開催 ○講師:日本福祉大学教育心理学部学校教育学科 伊藤修毅氏 《感想》※一部抜粋 ・性について詳しく理解がなかった為、とても勉強になった。自分の中の性に対する内容とお話をうかがって認識が全く違うことに驚いた。 ・加害者にも被害者にもなり得る可能性があり、正しい知識を付けることが大切で、リスク回避ばかりをしてしまいがちになってしまい権利について考えていくことができた。	令和7年度活動予定 ・相談支援事業所連絡会の開催:原則、毎月第2火曜日		